

家族や家庭生活のあり方に関する意識調査

調査へのご協力をお願い

日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび京都市では、市内にお住まいの18歳から49歳までの方の中から無作為に選ばせていただき、家族や家庭生活のあり方に関するアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、皆さまの結婚・出産に関する意識や、働き方、ワーク・ライフ・バランスへのご意見等をお聞かせいただき、今後の京都市の少子化対策やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた基礎資料とするために行う、非常に重要なものです。

なお、無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。
回答された内容はすべて統計的に処理され、目的外に使用することは一切ございません。

大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成30年 9 月

京都市長 門川大作

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、封筒の宛名の方ご本人がご記入ください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。
2. 選択肢をお選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
「その他」をお選びいただいた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. このアンケートは、「問 43」まであり、設問数は、全部で 70 問ございますが、設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
4. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに 9 月 21 日（金）までにポストにご投函ください。
5. このアンケートの結果については、平成 31 年 4 月以降に市ホームページにおいて公表する予定です。

【調査に関するお問い合わせ先】

京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課

家族や家庭生活のあり方に関する意識調査担当

電話：075-746-7610 FAX：075-251-2322

お問い合わせ受付時間：平日 9：00～17：30

※返送先は、京都市が調査・集計業務を委託している『株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所』宛となっています。

あなたご自身についてうかがいます

問 1 あなたの性別と年齢をお答えください（年齢は平成 30 年 9 月 1 日現在）。（○は 1 つ）

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない () 歳

問 2 お住まいの区等はどちらですか。（○は 1 つ）

- | | | |
|----------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 北 区 | 2. 上京区 | 3. 左京区 |
| 4. 中京区 | 5. 東山区 | 6. 山科区 |
| 7. 下京区 | 8. 南 区 | 9. 右京区（京北地域除く） |
| 10. 右京区（京北地域） | 11. 西京区（洛西支所管内除く） | 12. 西京区（洛西支所管内） |
| 13. 伏見区（深草・醍醐支所管内除く） | 14. 伏見区（深草支所管内） | 15. 伏見区（醍醐支所管内） |

問 3 あなたの就労形態をお答えください。（○は 1 つ）

- | | | |
|------------|-----------------|--------------------------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. 契約・パート・アルバイト | 3. 派遣社員 |
| 4. 自営業主 | 5. 家族従業者 | 6. 内職・在宅就業 |
| 7. 無職・家事専業 | 8. 専門学生・大学生等 | 9. その他（ ） |

問 4 あなたの最終学歴（現在学生の方は予定）をお答えください。（○は 1 つ）

- | | | | |
|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 | 3. 短大・高等専門学校 | 4. 大学 |
| 5. 大学院 | 6. 専修学校・各種学校 | 7. わからない | 8. その他（ ） |

問 5 (1) あなたは小学生の頃に親や保護者に勉強を覚えてもらう（一緒に学校の宿題に取り組むなど）機会がありましたか。（○は 1 つ）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に 3～4 日 | 3. 週に 1～2 日 |
| 4. 月に 1～2 日 | 5. めったになかった | |

問 5 (2) あなたは小学生，中学生，高校生の頃に塾に通っていましたか。（○は 1 つ）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 通っていた | 2. 通っていなかった |
|----------|-------------|

問 5 (3) あなたは，小学生，中学生，高校生の頃に，学校の授業以外で，自宅以外での文化芸術活動（映画，音楽，絵画，写真，演劇，能・狂言・歌舞伎などの鑑賞，体験など）や自然体験（山登り，海水浴，川遊び，キャンプなど），スポーツ活動を行う機会はどの程度ありましたか。（○はそれぞれ 1 つずつ）

	週 1 回以上	月 1 回以上	年数回以上	年 1 回程度	まったくない	わからない
① 文化芸術活動	1	2	3	4	5	6
② 自然体験	1	2	3	4	5	6
③ スポーツ活動	1	2	3	4	5	6

問 5 (4) あなたの学校での勉強の成績はどうですか（どうでしたか）。（○は 1 つ）

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 成績良好 | 2. まあまあ良好 | 3. 普通 |
| 4. やや遅れている | 5. かなり遅れている | 6. わからない |

問6 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1. 0～100万円 | 2. 101万～200万円 | 3. 201万～300万円 |
| 4. 301万～400万円 | 5. 401万～500万円 | 6. 501万～600万円 |
| 7. 601万～800万円 | 8. 801万～1,000万円 | 9. 1,001万円以上 |
| 10. わからない | | |

問7 あなたを含めて、同居しているすべてのご家族について、あなたからみた続柄、就業形態等、年齢、健康状態及び心身の状況について、下記の選択肢から番号を1つずつ選んでご記入ください（年齢は平成30年9月1日現在で直接記入）。

＜記入例＞ あなたに、小学1年生で7歳の子がいて、健康状態に問題がなく、心身ともに快調な場合

続柄	就業形態等	年齢	健康状態	心身の状況
10	10	7	1	1

＜記入欄＞

続柄	就業形態等	年齢	健康状態	心身の状況
1（本人）				

＜選択肢＞

【続柄】	1. 本人	2. 父	3. 母	4. 祖父	5. 祖母	6. 兄	7. 姉	8. 弟	9. 妹	10. 子	11. パートナー	12. その他（	）		
【就業形態等】	1. 正社員・正職員	2. 契約・パート・アルバイト	3. 派遣社員	4. 自営業主	5. 家族従業者	6. 内職・在宅就業	7. 無職・家事専業	8. 専門学生・大学生等	9. 中学生・高校生	10. 小学生	11. 幼稚園に通園	12. 保育園（所）・認定こども園・小規模保育事業所に通園	13. 認可外保育施設に通園	14. その他（	）
【健康状態】	1. 健康	2. どちらかといえば健康	3. あまり健康でない	4. 現在，病気療養中	5. 介護が必要な状態										
【心身の状況】	1. 心身ともに快調	2. からだの調子はよいが，精神的に不調	3. 精神的にはよいが，からだが不調	4. 心身ともに不調	5. なんともいえない										

問8 あなたが小学6年生（12歳）の頃、どなたと同居されていましたか。（○はいくつでも）
また、兄弟姉妹については（ ）に人数もご記入ください。

- | | | | | |
|------------|----------|----------|----------|-------|
| 1. 本人 | 2. 父 | 3. 母 | 4. 祖父 | 5. 祖母 |
| 6. 兄（ ）人 | 7. 姉（ ）人 | 8. 弟（ ）人 | 9. 妹（ ）人 | |
| 10. その他（ ） | | | | |

問9 あなたは、12歳の頃、親や保護者と遊ぶ機会は、どの程度ありましたか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に1～2日 | 5. めったになかった | |

問10 あなたは、12歳の頃、親や保護者と一緒に食事をする機会は、どの程度ありましたか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に1～2日 | 5. めったになかった | |

少子化についてうかがいます

問11 少子化は社会にどのような影響を与えますか。（○は2つまで）

- 1. 経済の活性化や安定的な経済成長が見込めなくなる
- 2. 現行の年金制度や医療保障制度が成り立たなくなる
- 3. 現役世代の租税や社会保障負担が増大する
- 4. 地域の活気がなくなる
- 5. 産業が衰退する
- 6. 高齢者の社会進出の機会が増加する
- 7. 人と人が協力し合って生活や社会を築く風潮が強まる
- 8. その他（ ）
- 9. 影響はない
- 10. わからない

問12 出生率（総人口に対する、1年間に生まれた子どもの数の割合）が低い主な原因は何だと思いますか。（○は3つまで）

- 1. 結婚して子育てをすること以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えたから
- 2. 子育てよりも仕事に生きがいを見出す人が増えたから
- 3. 結婚年齢が高くなったから
- 4. 出産・子育ては経済的負担が大きいから
- 5. 仕事と子育ての両立支援体制が整っていないから
- 6. 住宅や遊び場など、子育てに望ましい住環境が整っていないから
- 7. 保育園（所）や学童保育など子育て支援施策が十分でないから
- 8. 地域の人など、身近で子育てを支えてくれる人がいなくなったから
- 9. 社会の動向や環境問題に対して、将来への不安を感じる人が増えているから
- 10. その他（ ）
- 11. わからない

問 13 あなたは、出生率の上昇が必要だと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 何としても上昇させる必要がある | 2. 上昇させた方がよい |
| 3. あまり上昇させなくてもよい | 4. 上昇させなくてもよい |
| 5. わからない | |

問 14(1) 以下のそれぞれの取組・施策について、少子化対策として効果があると思いますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

	かなり 効果がある	少しは 効果がある	あまり 効果はない	まったく 効果はない	わからない
(1) 保育園（所）等に入所しやすい環境づくり	1	2	3	4	5
(2) 幼稚園での預かり保育の促進	1	2	3	4	5
(3) 学童保育を利用しやすい環境づくり	1	2	3	4	5
(4) 保育料の軽減	1	2	3	4	5
(5) 長時間保育の拡充	1	2	3	4	5
(6) 子どもが病気の時の看護休暇	1	2	3	4	5
(7) 病児・病後児の保育受入れ施設の拡充	1	2	3	4	5
(8) 親が病気の時に子どもを預けられる施設の整備	1	2	3	4	5
(9) 出産施設の受入れ体制の充実	1	2	3	4	5
(10) 妊婦健康診査費用の助成の充実	1	2	3	4	5
(11) 分娩費用の助成の充実	1	2	3	4	5
(12) 子どもの教育費の軽減	1	2	3	4	5
(13) 子どもたちに社会で生きる力を育む学校教育の充実	1	2	3	4	5
(14) 子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	1	2	3	4	5
(15) 気軽に育児の相談ができる場の確保	1	2	3	4	5
(16) 一時保育やファミリーサポート事業など、家庭での子育て支援策の整備	1	2	3	4	5
(17) 児童手当など子育て家庭への給付施策の充実	1	2	3	4	5
(18) 思春期における乳幼児と関わる機会の提供	1	2	3	4	5

問 14(2) 以下のそれぞれの取組について、少子化対策として効果があると思いますか。

(○はそれぞれ1つつ)

	かなり 効果がある	少しは 効果がある	あまり 効果はない	まったく 効果はない	わからない
(1)男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり	1	2	3	4	5
(2)育児休業中の賃金保障の引上げ	1	2	3	4	5
(3)育児休業中の代替要員の確保	1	2	3	4	5
(4)育児休業後復職時の前職の保障	1	2	3	4	5
(5)育児休業期間の長期化・弾力化	1	2	3	4	5
(6)職場内保育施設の拡充	1	2	3	4	5
(7)労働時間の短縮	1	2	3	4	5
(8)男性の育児・家事への参加の啓発	1	2	3	4	5
(9)扶養控除など税制による優遇措置の拡充	1	2	3	4	5
(10)授乳室の確保など子連れで出かけやすいまちづくり	1	2	3	4	5
(11)安価で良好な住宅の供給	1	2	3	4	5
(12)子連れで安全・快適に移動できる交通システムの整備	1	2	3	4	5
(13)地域の交流・支援のネットワークづくり	1	2	3	4	5
(14)男女の出会いの場づくりの支援	1	2	3	4	5



結婚についてうかがいます

問 15(1) あなたは結婚（入籍していないいわゆる事実婚も含みます）していますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 結婚している | ⇒問 15(2), (3), (4)へ |
| 2. 結婚していたことはあるが、離（死）別した | }⇒p. 7 問 15(5)へ |
| 3. 結婚していない | |

≪問 15(2)～(4)は、問 15(1)で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.7 問 15(5)へお進みください。≫

問 15(2) 結婚相手とはどのように知り合いましたか。（○は1つ）

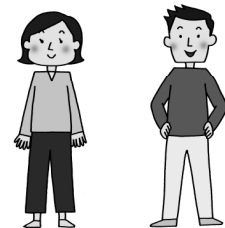
- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 学校で | 2. 職場や仕事の関係で |
| 3. 幼なじみ・隣人関係で | 4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で |
| 5. 友人や兄弟姉妹を通じて | 6. お見合いで（親戚・上役などの紹介も含む） |
| 7. 結婚相談所や婚活パーティ等で | 8. その他（ ） |

問 15(3) 最終的に結婚を決めた時の直接のきっかけは何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 年齢的に適当な時期だと感じた | 2. できるだけ早く一緒に暮らしたかった |
| 3. できるだけ早く子どもがほしかった | 4. 結婚資金（挙式や新生活の費用）が用意できた |
| 5. 収入や住居など結婚生活のための
経済的基盤ができた | 6. 自分または相手の仕事の事情 |
| 7. 子どもを授かった | 8. 友人や同年代の人たちの結婚 |
| 9. 親や周囲のすすめ | 10. パートナーの家族と別居が可能だった |
| 11. 自分または相手の家庭の事情 | 12. その他（ ） |

問 15(4) 結婚した後の新生活で困ったことはありましたか。（○は3つまで）

1. 経済的に苦しかった
2. 新生活に適した住まいが見つからなかった
3. 結婚に伴い、仕事を辞めなければならなかった
4. 就職先、転職先が見つからなかった
5. 妊娠した際、産婦人科が見つからなかった
6. 引っ越してきたため、近所で友人・知人がいなかった
7. 仕事と家庭の両立が難しかった
8. 新生活を送るうえで必要な情報が得られなかった
9. 日常の食料品等の買い物
10. 衣料・電化製品等の生活用品の買い物
11. バス・タクシー等の移動手段の確保
12. 生活環境の変化などによる悩みを相談する相手がいなかった
13. 家族との同居になじめなかった
14. 特になし
15. その他（ ）



《問 15(1)で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 16(1)へお進みください。》

問 15(5) 将来、結婚したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. すぐにでもしたい ⇒問 15(6)へ | 2. いずれはしたい ⇒問 15(6)へ |
| 3. 結婚したくない ⇒問 15(7)へ | |

《問 15(5)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 15(7)へお進みください。》

問 15(6) あなたが結婚したいと思う年齢はどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～24 歳 | 3. 25～29 歳 | 4. 30～34 歳 |
| 5. 35～39 歳 | 6. 40～44 歳 | 7. 45 歳以上 | 8. わからない |

→問 15(7) 結婚していない、あるいは、結婚したくない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. まだ若いから | 2. 必要性を感じないから |
| 3. 仕事に集中したいから | 4. 趣味に集中したいから |
| 5. 独身生活の方が気楽で自由だから | 6. 結婚したい人にめぐり逢えないから |
| 7. 人との付き合いが苦手だから | 8. 周囲の同意が得られない(と思う)から |
| 9. 結婚資金がないから | 10. 結婚後の経済的な生活基盤に不安があるから |
| 11. 前回の結婚でもう十分だから | 12. 自らが望む形態の結婚制度がないから |
| 13. その他 () | |

《すべての方にうかがいます。問 16(1)～問 20 までは、既婚・未婚に関わらず想定でお答えください。》

問 16(1) 結婚生活には、独身生活にはない「良いこと」があると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 良いことがあると思う ⇒問 16(2)へ | |
| 2. 良いことはないと思う ⇒問 17(1)へ | 3. わからない ⇒問 17(1)へ |

《問 16(1)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問 16(2) 具体的な「良いこと」はどのようなことだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 子どもを(生み)育てられる | 2. 愛する人と一緒に暮らせる |
| 3. 精神的な安らぎの場が得られる | 4. 経済的に余裕が出る |
| 5. 社会的な信用が得られる | 6. 親や周囲からの期待にこたえられる |
| 7. 性的な充足が得られる | 8. その他 () |

《問 16(1)で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。》

問 17(1) 独身生活には、結婚生活にはない「良いこと」があると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 良いことがあると思う ⇒問 17(2)へ | |
| 2. 良いことはないと思う ⇒p. 8 問 18 へ | 3. わからない ⇒p. 8 問 18 へ |

《問 17(1)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問 17(2) 具体的な「良いこと」はどのようなことだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 行動や生き方が自由にできる | 2. パートナーとの交際が自由にできる |
| 3. 友人などと広い人間関係が保てる | 4. 職業を持ち社会とのつながりができる |
| 5. 現在の家族とのつながりが保てる | 6. 経済的に余裕がある |
| 7. 家族を養う責任がなく気楽である | 8. その他 () |

問 18 独身生活を続けるとした場合、どのような心配や不安がありますか。(○は3つまで)

- 問 19 結婚を考える場合、どのような心配や不安がありますか。（○は3つまで）

- | | |
|------------|------------|
| 1. 現在の仕事 | 2. 現在の住居 |
| 3. 現在の生活水準 | 4. 現在の趣味 |
| 5. 自分の姓 | 6. 自由な時間 |
| 7. 特にない | 8. その他 () |

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない	わから ない
(1)家事や育児は、仕事の有無に関わらず、男女で 平等に分担すべきだ	1	2	3	4	5
(2)結婚したら、女性は家事や育児に専念すべきである	1	2	3	4	5
(3)仕事よりも家庭や家族の方が大切だ	1	2	3	4	5
(4)乳幼児期の子どもは、保育園（所）などに預け ず、親が全面的に子育てを行うべきだ	1	2	3	4	5
(5)子どものことも大事だが、自分自身の生活も大 事にしたい	1	2	3	4	5
(6)結婚は個人の自由なので、してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
(7)結婚しないで子どもを持ってもかまわない	1	2	3	4	5
(8)両親等から子育ての手助け・支援を受けたい	1	2	3	4	5
(9)結婚しても、必ずしも子どもを持たなくてもよい	1	2	3	4	5
(10)結婚しても、夫婦別姓でもかまわない	1	2	3	4	5

問 22 下の選択肢の中に生き方のタイプがいくつか示してあります。あなたのお考えに最も近いと思われるタイプの番号を選び、それぞれの回答欄にご記入ください。(選択肢はそれぞれ1つずつ)

回答欄	(1)理想とする人生	(2)実際の(実際になりそうな)人生

選択肢 (上の回答欄に 番号を1つずつ記入)	1. 結婚し子どもを持つが、あなたもパートナーも仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、あなたもパートナーも仕事を続ける 3. 結婚や出産の機会にあなたが退職し、子育て後に再び仕事を持つ 4. 結婚や出産の機会にあなたが退職し、その後も仕事を持たない 5. 結婚や出産の機会にパートナーが退職し、子育て後に再び仕事を持つ 6. 結婚や出産の機会にパートナーが退職し、その後も仕事を持たない 7. 結婚せず、仕事を続ける 8. その他 ()
-------------------------------------	--

問 23 最近、結婚しない人や高齢で結婚する人が増えている理由・原因として次のようなことが考えられていますが、あなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない	わから ない
(1)パートナーと知り合うゆとりや機会が少ないから	1	2	3	4	5
(2)一人でも十分に充実した生活が送れるから	1	2	3	4	5
(3)束縛されずに自由に生きたい人が増えてきたから	1	2	3	4	5
(4)対人関係がわずらわしく、苦手な人が増えているから	1	2	3	4	5
(5)結婚生活の失敗を恐れるから	1	2	3	4	5
(6)社会の動向や環境問題に対して不安を感じるから	1	2	3	4	5
(7)フリーターなど所得が低い若者が増えているから	1	2	3	4	5
(8)女性の社会進出と家族形成を両立させる社会環境が整っていないから	1	2	3	4	5
(9)親から自立ができていない人が増えているから	1	2	3	4	5
(10)子どもをほしいと思わない人が増えているから	1	2	3	4	5

問 24 結婚の機会を増やすため、行政が支援する（関わる）ことについてどう思いますか。（○は1つ）

1. 個人の問題なので、行政が支援策を実施するのはおかしい
2. 個人の問題ではあるが、行政が支援を行ってもかまわない
3. 結婚しない人が増えれば少子化が進み個人の問題にとどまらないから、行政が積極的に支援すべきである
4. その他（ ）
5. わからない

問 25 結婚の支援のため、行政が優先して行うべき取組は何ですか。（○は1つ）

1. 結婚したい男女の出会いの場づくり
2. 企業等の雇用主に働きかけ、労働時間の短縮を普及させる
3. 企業等の雇用主に働きかけ、男女ともに育児に関する休暇を取得しやすい環境づくりを進める
4. 企業等の雇用主に正規社員の雇用を働きかける
5. 男女がともに社会参加や自己実現できる意識改革を推進する
6. 男性の家事・育児への参加を促すための取組や啓発を進める
7. 保育園（所）等に子どもを預けられるなど、働きながら子育てができる環境づくりを進める
8. その他（ ）

出産についてうかがいます

問 26(1) あなたは現在、妊娠中のお子さまも含めて何人のお子さまがいますか。4人以上の場合は（ ）内に具体的な人数をご記入ください。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|------------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人以上（ ）人 | 5. 子どもはいない | |

問 26(2) あなたは何人のお子さまを持つ予定ですか。4人以上の場合は（ ）内に具体的な人数をご記入ください。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|--------------------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人以上（ ）人 | 5. 子どもはいらない（予定はない） | |

問 27 あなたが、できれば持ちたい「理想」の子ども数は何人ですか。4人以上の場合は（ ）内に具体的な人数をご記入ください。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人以上（ ）人 | 5. 多ければ多い方がいい | 6. ほしくない |

問 28 現実にいる子どもの数、もしくは持とうと予定している子どもの数は理想と比べていかがですか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 多い | 2. 同じ | 3. 少ない |
|-------|-------|--------|

＜問 26 (2) で「5. 子どもはいる（予定はない）」または問 27 で「6. ほしくない」と答えた方にうかがいます。＞

問 29 (1) 子どもを持たない理由をお答えください。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 結婚するつもりがないから | 2. 仕事や趣味を優先したいから |
| 3. 妊娠・出産が大変だから | 4. 育児が大変だから |
| 5. 育児と仕事の両立が困難だから | 6. 子どもが好きではないから |
| 7. 健康上の理由で妊娠・出産が困難だから | 8. 出産・育児・教育にお金がかかるから |
| 9. 夫婦の生活を大切にしたいから | 10. パートナーが子どもをほしがらないから |
| 11. その他（ | ） |

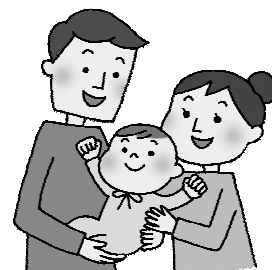
＜問 28 で「3. 少ない」と答えた方にうかがいます。＞

問 29 (2) 子ども的人数が実際には理想より少なくなりそうな理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 育児が大変だから | 2. 育児に家族の協力が得られないから |
| 3. 健康上の理由で妊娠・出産が困難だから | 4. 保育園（所）や学童保育など子育て支援施策が不十分だから |
| 5. 出産・育児・教育にお金がかかるから | 6. 自然環境・社会環境が良くないから |
| 7. 定年退職までに子どもが成人してほしいから | 8. パートナーが子どもをほしがらないから |
| 9. その他（ | ） |

問 30 子どもを持ったり、理想の子どもの数に近づけるために、これだけあればできるかもしれないと思う最低限必要なものをお答えください。（○は1つ）

1. 育児休業制度の充実
2. 育児・家事に関する家族等のバックアップ
3. 職場における理解や支援
4. 地域や社会全体での子育ての応援体制
5. 職場内保育施設の整備
6. 長時間保育の実施
7. 待機することなく入所できる保育施設
8. 待機することなく利用できる学童保育
9. 子どもが病気やケガの時に預けられる施設の充実
10. 子どもの安心安全な活動場所の確保
11. 出産費用の負担軽減措置
12. 保育料の軽減措置
13. その他の子育て・教育費用の負担軽減措置
14. その他（



＜問 31 は、問 27 で「2～5」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.12 問 32 (1) へお進みください。＞

問 31 理想とする子どもの数が2人以上の理由をお答えください。（○は2つまで）

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 自分やパートナーがほしがった（ている）から | 2. 家族は多い方がいいから |
| 3. 今の子どもと別の性別の子どもがほしいから | 4. 子どもが複数いた方が、将来自分たちが安心できるから |
| 5. 子どもに遊び相手ができるから | 6. 子どもの成長につながるから |
| 7. 子どもが将来支え合えるから | 8. その他（ |

《すべての方にうかがいます。》

問 32(1) あなたは出産後の実家との関わり方についてどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 同居したい | ⇒問 33 へ |
| 2. 近くに住みたい | ⇒問 32(2) へ |
| 3. 近くに住みたくない | } ⇒問 33 へ |
| 4. 両親はともに他界している | |

《問 32(1) で「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 33 へお進みください。》

→問 32(2) 実家との理想的な距離は、車で何分くらいですか。

() 分

「真のワーク・ライフ・バランス」の実現(仕事, 家庭生活, 地域活動や社会貢献の調和)についてうかがいます

※「真のワーク・ライフ・バランス」とは

仕事と家庭生活の単なる「時間のバランス」を超え、人間らしくいきいきと効率的に働き、同時に育児や介護等の家庭生活も大事にする考え方です。また、地域活動や社会貢献活動が調和することで、人間力が高まり、心豊かな充実した人生を送ることができるという考え方です。

問 33 あなたは、京都市が提案している「真のワーク・ライフ・バランス」について知っていましたか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 言葉も意味も知っていた | 2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった |
| 3. 言葉自体知らなかった | |

問 34(1) あなたは、ご自身やご家族について、希望どおりに真のワーク・ライフ・バランスが取れていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 取れている | ⇒p. 13 問 35(1) へ |
| 2. 取ろうとしているがあまり取れていない | |
| 3. まったく取れていない | |
| 4. 考えたこともない | ⇒p. 13 問 35(1) へ |

《問 34(1) で「2」または「3」と答えた、ご自身やご家族が仕事をされている方にうかがいます。それ以外の方は p.13 問 35(1) へお進みください。》

→問 34(2) 取れていない理由は何ですか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 仕事が忙しく、個人の生活のために仕事を途中で切り上げて帰宅するのは難しい |
| 2. 自分の私生活より仕事の方が大切だと思うから |
| 3. 仕事以外にやるべき(やりたい)ことがないから |
| 4. その他 () |

《小学生以下のお子さまがいらっしゃる方にうかがいます。それ以外の方は p.14 問 36 へお進みください。》

問 35 (1) あなたは普段、小学生以下のお子さまの子育てやご家族の介護をされていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 子育てを行っている | ⇒問 35 (2) へ |
| 2. 介護を行っている | ⇒問 35 (3) へ |
| 3. 子育てと介護の両方を行っている | ⇒問 35 (2), (3) へ |
| 4. どちらも行っていない | ⇒p. 14 問 36 へ |

《問 35 (1) で「1」または「3」と答えた方にうかがいます。》

問 35 (2) あなたは普段、「子育て」に対して以下のような負担を感じますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	非常に負担を感じる	やや負担を感じる	どちらともいえない	まったく負担を感じない	あまり負担を感じない
① 肉体的負担感 (体力が奪われる, 疲れる, 身体に痛みが出る等)	1	2	3	4	5
② 精神的負担感 (報われない気がする, ストレスや孤独を感じる等)	1	2	3	4	5
③ 経済的負担感 (費用が家計を圧迫している)	1	2	3	4	5
④ 社会活動の制約 (仕事や他の社会活動に支障が出る等)	1	2	3	4	5

《問 35 (1) で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。》

問 35 (3) あなたは普段、「介護」に対して以下のような負担を感じますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	非常に負担を感じる	やや負担を感じる	どちらともいえない	まったく負担を感じない	あまり負担を感じない
① 肉体的負担感 (体力が奪われる, 疲れる, 身体に痛みが出る等)	1	2	3	4	5
② 精神的負担感 (報われない気がする, ストレスや孤独を感じる等)	1	2	3	4	5
③ 経済的負担感 (費用が家計を圧迫している)	1	2	3	4	5
④ 社会活動の制約 (仕事や他の社会活動に支障が出る等)	1	2	3	4	5

問 35 (4) お子さまと一緒に過ごす時間（遊ぶ時間や勉強を教える時間）は取れていますか。

（○は1つ）

1. 取れている ⇒問 36 へ

2. 取ろうとしているがあまり取れていない

3. まったく取れていない

4. 考えたこともない ⇒問 36 へ

≪問 35 (4) で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 36 へお進みください。≫

→問 35 (5) 取れていない理由は何ですか。（○は1つ）

1. 仕事や家事、介護等が忙しく時間がないから

2. 子どもとの時間より、仕事の方が大切だと思うから

3. 子どもとの時間より、趣味など自分のために使う時間の方が大切だと思うから

4. その他（ ）

≪問 36～問 37 (6) は、結婚している方（入籍していないいわゆる事実婚も含む。）にうかがいます。

それ以外の方は p.16 問 38 へお進みください。≫

問 36 結婚の前後であなたとパートナーの仕事の状況は変わりましたか。（○はそれぞれ1つずつ）

<(1)あなたご自身>

1. 結婚前の仕事を続けた

2. 仕事を変えて働き続けた

3. 仕事を辞めた

4. もともと仕事はしていない

5. 新たに就職した

6. その他（ ）

<(2)パートナー>

1. 結婚前の仕事を続けた

2. 仕事を変えて働き続けた

3. 仕事を辞めた

4. もともと仕事はしていない

5. 新たに就職した

6. その他（ ）

問 37 (1) あなたは、出産（パートナーの出産を含む）を機に仕事を辞めた経験がありますか。

（○は1つ）

1. 第1子出産を機に仕事を辞めた

2. 第2子以降の出産を機に仕事を辞めた

3. 出産を機に仕事を辞めていない

4. 出産の時点では仕事をしていなかった

5. 出産をしていない

} ⇒p. 15 問 37 (2), (3) へ

} ⇒p. 16 問 38 へ

⇒p. 15 問 37 (5) へ

≪問 37(1)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 37(5)へお進みください。≫

問 37(2) 仕事を辞めた理由は何ですか。(○は1つ)

1. 家庭生活(家事や子育てなど)に専念したかった
2. 職場が育児休業、子の看護休暇などを利用しづらい雰囲気であった
3. パートナーや家族が退職を望んだ
4. 仕事と家庭生活の両立が困難だった
5. その他 ()

問 37(3) 仕事を辞めた後、また働き始めましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 働き始めた | } ⇒問 37(4)へ |
| 2. 働いてないが、機会があれば働きたい | |
| 3. 働いていないし、これからも働くつもりはない | ⇒p. 16 問 38へ |

≪問 37(3)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.16 問 38 へお進みください。≫

問 37(4) また働き始めた、あるいは機会があれば働きたいと思った最も大きなきっかけは何でしたか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 子どもが大きくなったから | 2. 経済的な理由が発生したから |
| 3. 友人・知人に誘われたから | 4. パートナーからすすめられたり、頼まれたから |
| 5. 元の職場から誘われたから | 6. 求人募集をみてやる気になったから |
| 7. その他 () | |

≪問 37(1)で「5」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.16 問 38 へお進みください。≫

問 37(5) あなたは、出産(パートナーの出産を含む)を機に仕事を辞めようと思いますか。
(○は1つ)

- | | | |
|---------|--------------|-----------------------|
| 1. 思う | ⇒問 37(6)へ | |
| 2. 思わない | ⇒p. 16 問 38へ | 3. わからない ⇒p. 16 問 38へ |

≪問 37(5)で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.16 問 38 へお進みください。≫

問 37(6) その理由は何ですか。(○は1つ)

1. 家庭生活(家事や子育てなど)に専念したい
2. 職場が育児休暇制度などを利用しづらい雰囲気なため
3. パートナーや家族が退職を望みそうなため
4. 仕事と家庭生活の両立が難しそうなため
5. その他 ()

問 38 真のワーク・ライフ・バランスの実現のために、企業等にどのようなことに取り組んでほしいと思いますか。（〇は3つまで）

1. 長時間労働の抑制
2. 年次有給休暇の取得促進
3. 労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応
4. パートタイム労働者の均衡処遇の推進
5. テレワーク（在宅勤務）の普及促進
6. 育児休業制度の充実
7. 子どもの看護休暇等の定着
8. 学校行事等に参加しやすい時間単位休暇制度などの導入
9. どのような働き方をしても、公正に処遇される人事制度の確立
10. その他（
11. 特になし



問 39 真のワーク・ライフ・バランスを積極的に推進したり，理解がある企業等についてどのように
 思いますか。（○は1つ）

1. 人材を大切にする企業等は、将来必ず発展すると思う
2. 企業等として信頼できるので、当該企業等のサービスを積極的に利用しようと思う
3. 自分自身や子どもが就職する際に、当該企業等を候補として是非検討したい
4. 企業等として仕事と生活の調和の推進に取り組む責任があるので当然のことだと思う
5. 当該企業等は、競争社会では到底勝ち抜いていけないと思う
6. その他（

問 40 真のワーク・ライフ・バランスの実現のため、国や京都市にどのようなことを期待しますか。
(○は1つ)

1. 企業等への積極的な啓発
2. 真のワーク・ライフ・バランスの実現に積極的に取り組む企業等への表彰
3. 真のワーク・ライフ・バランスの実現に積極的に取り組む企業等への経済的な支援（税制上の優遇措置等）
4. 真のワーク・ライフ・バランスを推進する社会的気運の醸成
5. 法整備による取組の義務化
6. その他（ ）

問 41 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 仕事や就労 | 2. 経済的な豊かさ |
| 3. 子育てや子どもへの教育 | 4. 家族と過ごす時間 |
| 5. 友人など家族以外の人との交流 | 6. 自分のために使う時間（趣味や自己研さんのための時間等） |
| 7. 自分や家族の健康 | 8. 地域や社会に貢献する活動 |
| 9. その他（ | 10. 特にな |

《**最後にうかがいます。**》

問 42 (1) あなたは、結婚や出産後も京都市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 思う ⇒問 42 (2) へ

2. 思わない ⇒問 42 (2) へ

3. わからない ⇒問 43 へ

《問 42 (1) で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 43 へお進みください。》

問 42 (2) そのように思う理由は何ですか。以下にご記入ください。

問 43 安心して子どもを生み、子どもを健やかに育てていくための行政の取組や、社会制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、以下の選択肢1つに○を付けていただき、自由記述欄にご記入ください。

1. 妊娠・出産に関する取組について

2. 子どもの健康や医療について

3. 保育園（所）、認定こども園や幼稚園について

4. 保育園（所）、認定こども園や幼稚園以外の子育て支援について

5. 就学後の学童クラブ等の子育て支援について

6. 教育環境について

7. 子育て世帯に対する経済的支援について

8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について

9. その他（ ）

(自由記述)

**アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました！
同封の封筒に入れ、切手を貼らずに9月21日（金）までにご投函ください。**